

教科（科目）	保健体育（体育）	単位数	3単位	学年 （コース）	3学年 （普通科）
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）				
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>卒業までに次の資質・能力を育成する。</p> <p>① 「深慮にして実践」「誠実にして勉励」「和親にして敬愛」の教育目標の下、物事に主体的に取り組む姿勢を育成する。</p> <p>② 自身の健康を保ちつつ、社会的な自立を目指し、多様性を尊重しながら、他者と協働して取り組む力を育成する。</p> <p>③ 教科横断的な視点を持ち、様々な学習活動をとおして創造力、行動力、コミュニケーション能力を育成する。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行う。</p> <p>① 生徒一人ひとりの目標や進路希望が実現できる教育課程を編成し、教育活動を展開する。</p> <p>② 3年後の進路を見据えた学力の定着と活用に向け、ICT機器を活用するなどして、主体的・対話的で深い学びと探究的な学習を行う。</p> <p>③ 自己の在り方生き方を探究するため「総合的な探究の時間」を軸に、課題発見・解決、自己表現の育成に取り組む。</p> <p>④ 様々な状況や環境に対応し自己の力を向上させるためボランティア活動やインターンシップ、外部検定試験など生徒が自ら挑戦できる機会となる情報を積極的に提供する。</p> <p>⑤ 学校行事や部活動などの生徒の主体的な活動の支援に向け、安全・安心な教育環境に努める。</p>

2 学習目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
- (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。



3 指導の重点

- ① 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、運動の多様性や体力の必要性について理解を深めるとともにそれらの技能を身につけさせる。
- ② 各自の目標についての課題を発見し、解決に向け思考・判断するとともに他者に伝える能力を養わせる。
- ③ 主体的に運動することを心がける中で、公正に取り組み、他者と違いを理解しながら、健康・安全に留意した態度を身につけさせる。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

5 評価方法

各観点における評価方法は次とおりです。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 技能の習得状況の観察 ・ ルールの理解状況の観察 ・ 技能テスト ・ 学習カードの記述の分析 ・ レポート等の提出物の内容 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動技能向上に向けた取り組み方の観察 ・ 安全に運動を実践するための考え方や判断力 ・ ペアワークやグループワークでの発言や取組の観察 ・ 学習カードの記述の分析 ・ レポート等の提出物の内容 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯にわたる運動実践のため、自ら考え、積極的に行動する態度の観察。 ・ ペアワークやグループワークでの発言や取組（他者や仲間への関わり方等）の観察 ・ 学習カードの記述の分析 ・ レポート等の提出物の内容 などから評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点 「A：十分満足できる」「B：おおむね満足できる」「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業 時数	領域	教材	学習活動(指導内容)	評価方法
4	体づくり運動	10	体づくり運動	教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関わる内容、目標を理解させ、統制の取れた動きを実現するために、仲間と協力し、練習の仕方や号令のかけ方を工夫することができるようにする。 ・運動の楽しさや喜びを味わうとともに、運動に親しんでいく基盤となる活動を行うことができるようにする。また仲間と交流しながら、主運動につながる活動を行う。 	観察 学習カード等
5	選択① ・剣道 ・ダンス ・サッカー ・ソフトボール ・テニス	20	・武道 ・ダンス ・球技 (ゴール型) (ネット型) (ベースボール型)	教科書 副教材	【剣道】 伝統的な考え方を理解し、それに基づく行動の仕方を身につける。基本動作から、相手の多様な動きに応じた攻防を展開できるようにする。	技術テスト 観察 学習カード等
6					【ダンス】 リズムの特徴をとらえ、変化とまとまりをつけて、全身で踊ることができるようにする。	
6	選択② ・剣道 ・ダンス ・サッカー ・ソフトボール ・テニス	15	・武道 ・ダンス ・球技 (ゴール型) (ネット型) (ベースボール型)	教科書 副教材	【サッカー】 基礎・基本の技術を習得し、連係プレーでゲームが進められるようにする。ルールを理解し、チームとして組織的な攻撃・防御を展開できるようにする。	技術テスト 観察 学習カード等
7					【ソフトボール】 基礎・基本の技術を習得し、連係プレーでゲームが進められるようにする。ルールを理解し、チームとして組織的な攻撃・防御を展開できるようにする。	
8	陸上競技 (長距離)	12	陸上競技	教科書 副教材	【テニス】 基礎・基本の技術を習得し、ゲームが進められるようにする。ルールを理解し、シングルスやダブルスでの相手に応じた攻撃・防御を展開できるようにする。	技能テスト (タイム計測) 観察 学習カード等
9					選択②も同様	
10	体育理論	2	体育理論	教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの始まりと変遷 ・文化としてのスポーツ 	課題プリント

10	選択③ ・バスケットボール ・バレーボール ・バドミントン ・卓球	20	球技 (ゴール型) (ネット型)	教科書 副教材	【バスケットボール】基礎・基本の技術を習得し、連係プレーでゲームが進められるようにする。ルールを理解し、チームとして組織的な攻撃・防御が展開できるようにする。 【バレーボール】基礎・基本の技術を習得し、連係プレーでゲームが進められるようにする。ルールを理解し、チームとして組織的な攻撃・防御が展開できるようにする。 【バドミントン】基礎・基本の技術を習得し、ルールを理解し、シングルスやダブルスでの相手に応じた攻撃・防御が展開できるようにする。 【卓球】基礎・基本の技術を習得し、ルールを理解し、シングルスやダブルスで相手に応じた攻撃・攻防が展開できるようにする。	技術テスト 観察 学習カード等
11						
12	体育理論	2	体育理論	教科書 副教材	・スポーツを推進する取り組み ・豊かなスポーツライフの創造	課題プリント
12	選択③ バスケットボール バレーボール 卓球 バドミントン	22	球技 (ゴール型) (ネット型)	教科書 副教材	選択③と同様	技術テスト 観察 学習カード等
1						
1	体育理論	2	体育理論	教科書 副教材	・スポーツ科学 ・スポーツに関わる職業 ・スポーツライフ ・諸外国のスポーツ振興	課題プリント

計105時間 (50分授業)

7 課題・提出物等

体育理論時においては、課題プリントの提出があります。

8 担当者からの一言

更なる技術向上と行動意識を高め、より健康と安全に努めましょう。